

事前配布版（2022.4.1）

# 第45回 全国建築板金競技大会

## 課題 及び 審査基準（抜粋）

### <建築技術の部>

2023年2月25日(土)・26日(日)

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会  
全日本板金工業組合連合会

# 第45回 全国建築板金競技大会 建築技術の部 課題

2022年4月1日出題

◇下記に示す条件に沿って、施工図・説明文を作成しなさい。

1. 競技時間

施工図作成：4時間

※図面作成に要する競技時間

2. 支給する材料

品名	数量	寸法・規格
セクションペーパー	2枚	A2(594mm×420mm) コクヨ ホー17N

3. 仕様

• 当日支給するセクションペーパー（A2版 594×420mm）2枚に、描いていただきます。

- 描く内容については1枚目、2枚目の指定はありません。

カタログや文献等の資料の持ち込みを一切禁止します。

ドラフターやパソコン類・電子辞書（辞書）の、競技会場への持ち込みも

一切禁止します。

また、競技中のPDA（携帯情報端末…スマートフォン等含む）使用は禁止しま

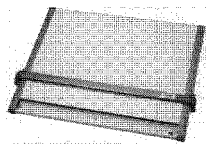
す。

製図板・T定規・テンプレート等への書き込み等は一切禁止します。

◎本年度課題の趣旨説明

- ・ 今回は、新築工事の屋根、外壁、樋の施工図の作成です。設計士さんと元請さんに必要な箇所の納まり、下地を提案し、詳細図を書いてください。
- ・ 「責任施工保証制度」の正しい理解を促し、保証書の発行を前提とした施工図を作成していただきます。
- ・ 製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の描き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます。
- ・ 保証書の発行が前提となりますので、全日本板金工業組合連合会発行の冊子「建築板金施工法—金属屋根施工篇—」の要領に基づいて描いてください。

4. 選手が持参するもの(※は使用禁止なもの)

品名	備考
製図板 または 平行定規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>会場では準備しておりませんので必ず持参して下さい。</u></li> <li>・ 製図板を傾げるための台は認めます。</li> <li>・ 平行定規は使用できます。</li> </ul>  <p>(平行定規付き製図板の例)</p>
T 定規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>会場では準備しておりません。</u></li> </ul>
製図道具一式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選手各自、持参して下さい。</li> <li>・ 音の出る電動芯削りなどは使用不可</li> </ul>
※ドラフター類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>使用できません。</u></li> </ul>
電卓類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関数計算機能付電卓使用は可とします。</li> </ul>
※パソコン類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>使用できません (PDA タイプ、タブレット類などを含む)。</u></li> </ul>
マスキングテープ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面押さえ用</li> </ul>
服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業に適した服装を準備して下さい。</li> </ul>

## 5. 会場で準備・配布するもの

品名	数量	備考
課題冊子	1	• <u>当日再配布します。持参した課題冊子は使用不可。</u>
セクション ペーパー	2枚	• A2 (594×420 mm) コクヨ ホー17N
タイトルシール	2枚	• ゼッケン番号、作図者、図面タイトルなどの記入用 • タテ 66 mm × ヨコ 144 mm

## 6. 審査基準

- 5ページからの「審査基準（抜粋）」をご覧ください。

## 7. 道具の送付について

道具類を事前に送付する際は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにして下さい。

(現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります)

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 「富士教育訓練センター」

TEL : 0544-52-0968 FAX : 0544-52-1336

「富士教育訓練センター気付 日板協 ○○・○○○○ (組合・氏名)」

※大会当日に届いた道具類については選手自身で事務所から体育館へ運搬していただきます。

**注意**富士教育訓練センターから自宅への宅急便はヤマト運輸の着払いのみとなります。  
返送に係る制限があります (3 辺の長さの合計が 200 cm/重量は 30 kg以内)。

## 8. 課題に対する質問

- 課題に対する質問等がありましたら、所属組合事務局または当該組合青年部長を通じて日板協事務局まで書面にてお申し出下さい。

FAX : 03-3456-2781 E-mail: :k.kuroki@zenban.jp

※ 1. 質問は出来る限り具体的に記述してください。

2. 質問内容の確認を行う場合がありますので、連絡先を明記してください。

- 質問の受け付けは 2022 年 12 月 2 日 (金) 17 時到着分までとします。
- 質問受付期日を過ぎた質問に対しては、いかなる場合でも回答は出来ませんのでご注意ください。 また、大会当日の質問又は異議申し立ては受け付けておりません。

以上

**第 45 回全国建築板金競技大会 【建築技術の部】 審査基準（抜粋）**

1) 採点の方法

採点の方法は得点法を用い、図面①、②の合計 500 点を満点とする。  
 高得点者をもって上位者とする。

2) 採点項目及び配点

採点項目		得点
図面番号 ①・②	全体（バランス・図面の汚れ・総合）	120
	完成度（必要な箇所が描かれているか）	100
	納まり（不具合のない納めになっているか）	150
	仕様（使用材料の選定に問題がないか）	60
	寸法（正しく記入されているか）	20
	線（正しく記入されているか）	20
	文字（正しく記入されているか）	30
	合 計	500
総 合 計		500

3) 失格事項

次の項目に該当した者は失格とする。

- 1) 競技中、不注意等により他人にケガをさせた場合。
- 2) 競技の途中で不正行為により退場を命じられた場合。
- 3) 使用を禁止されている道具等の使用が判明した場合。

4) その他

採点については審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか否かを決定する。減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

開・閉会式や道具検査への遅刻については審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

## 【建築技術の部 課題】

今回の課題は、施工図面の作成です。

馴染みの工務店さんからの依頼で、新築工事の屋根・外壁・樋を施工することになりました。ついては設計図面では細かい納まりがわからないので、技術提案を含め実際に施工するための施工図面を書いてほしいとのことです。

この物件は設計事務所からの依頼のため、板金工事の仕上がりに対して工務店以上に、見た目に対するこだわりや機能性を重視した提案が必要となってくるでしょう。

今回、施工図面で工務店が知りたい箇所は以下の通りですが、その中でも設計事務所が特に詳しく知りたい箇所があるみたいなので、その設計事務所との打ち合わせの日までに各部の納まりについてどこの部分が聞かれても大丈夫なように準備をしておきましょう。

### 工事概要

建物の構造は鉄骨平屋建て。

地域交流センターの新築工事です。

耐火構造を考慮し下地材も提案してください。

屋根 30分 外壁 45分とします。

仕様は以下の通り

屋根	立平葺	カラーGL 鋼板	t=0.5 mm	
破風・鼻隠し	形状指定なし	カラーGL 鋼板	t=0.5 mm	
軒天	スパンドレル貼り	カラーGL 鋼板	t=0.4 mm	
外壁	横張部分	角波サイディング貼り	カラーGL 鋼板	t=0.5 mm
	縦張部分	立平葺	カラーGL 鋼板	t=0.5 mm
樋	樋の数及び内樋のサイズは排水量を考慮して提案してください 降雨量は 120 mm/h とします			

今回、特に工務店が知りたい施工図面での納まり箇所は以下の通りです

- 屋根の納まり方
- 外壁の納まり方
- 軒先・ケラバ・軒天周りの納まり方（下地含む）
- 樋の納まり方（堅樋の位置・本数も含む）
- 庇の納まり方
- その他設計事務所が特に詳しく知りたいと思いきような箇所

※ 提出図面の1枚目・2枚目に自由にレイアウトしてください

※ 設計事務所との打ち合わせの日は2023年2月26日です。つまり競技大会当日に詳しく知りたいと思われる納まり箇所がわかります。

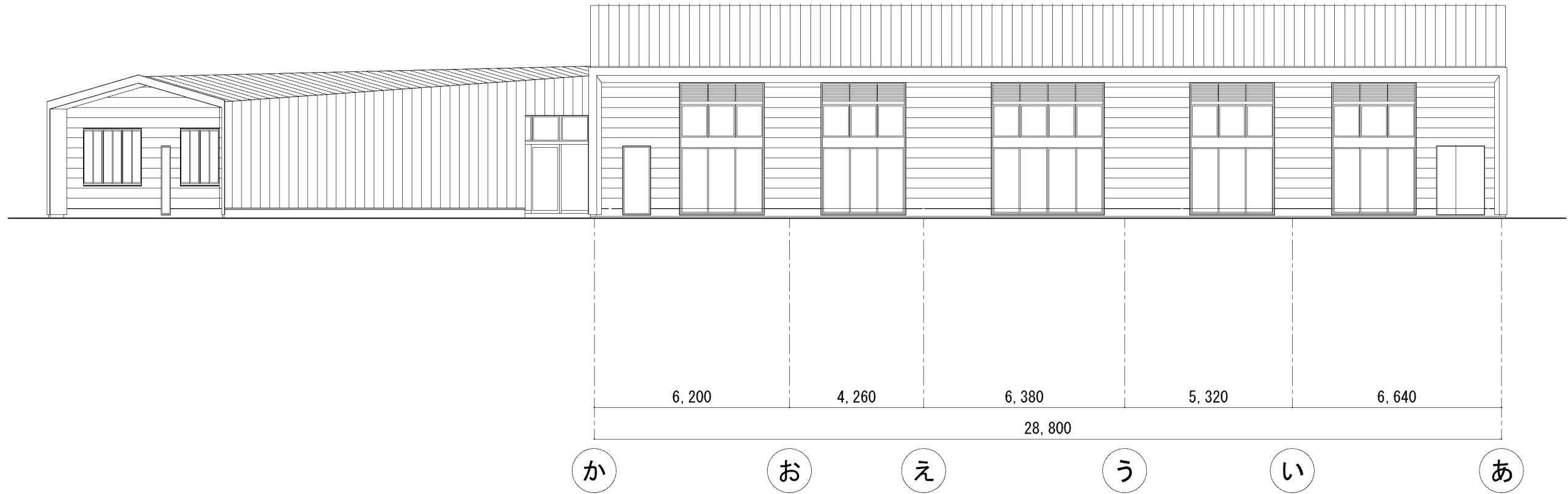
※ 外壁材は6m以内の長さの物を使用してください。

※ 設計事務所の気になっていた納まり箇所が書けると加点いたしますが、書けなくても減点や失格はありません。

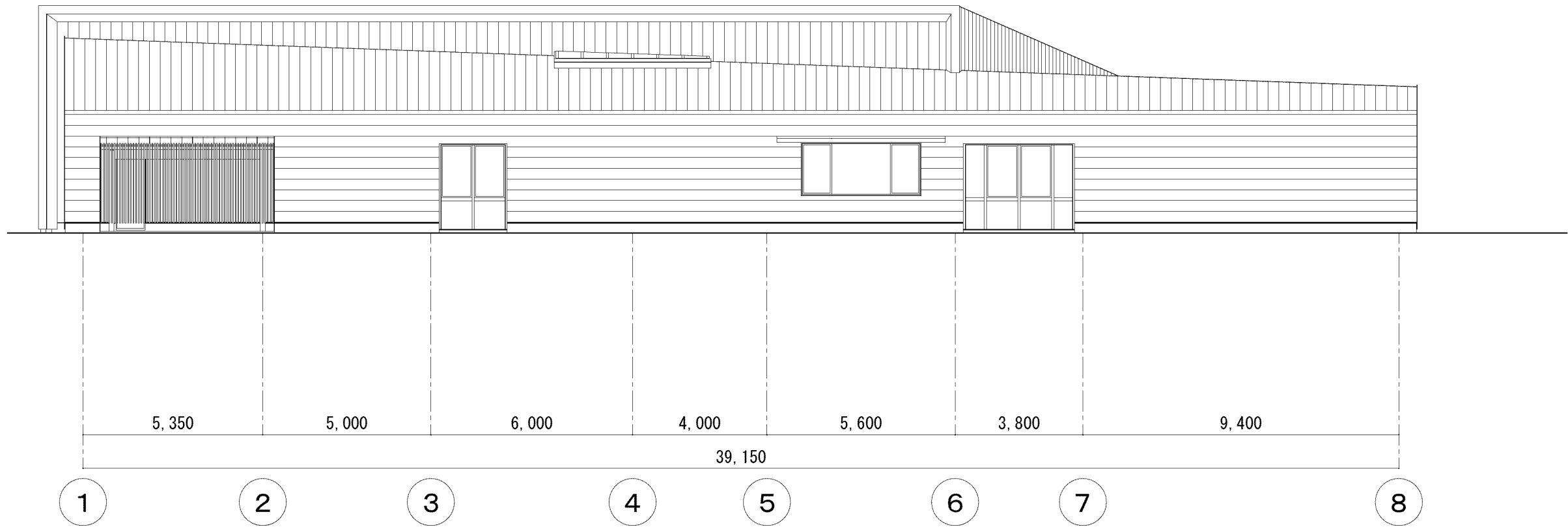
## 条件

- 納まりに関しては、技術提案も含めた実際に自分が施工する内容の納まりにしてください
  - 製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の書き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます
  - 工事完了後は(株)全日本建築板金保証センターの保証書を発行していただきます
  - 各箇所の納まり部の技法又は寸法については『建築板金施工法－金属屋根施工編－』に基づいて図面を作成してください
  - 使用する製品は図面にメーカー、商品名を明記し、資料を提出してください
- ※ 仕上板金材料の資料のみで構いません。

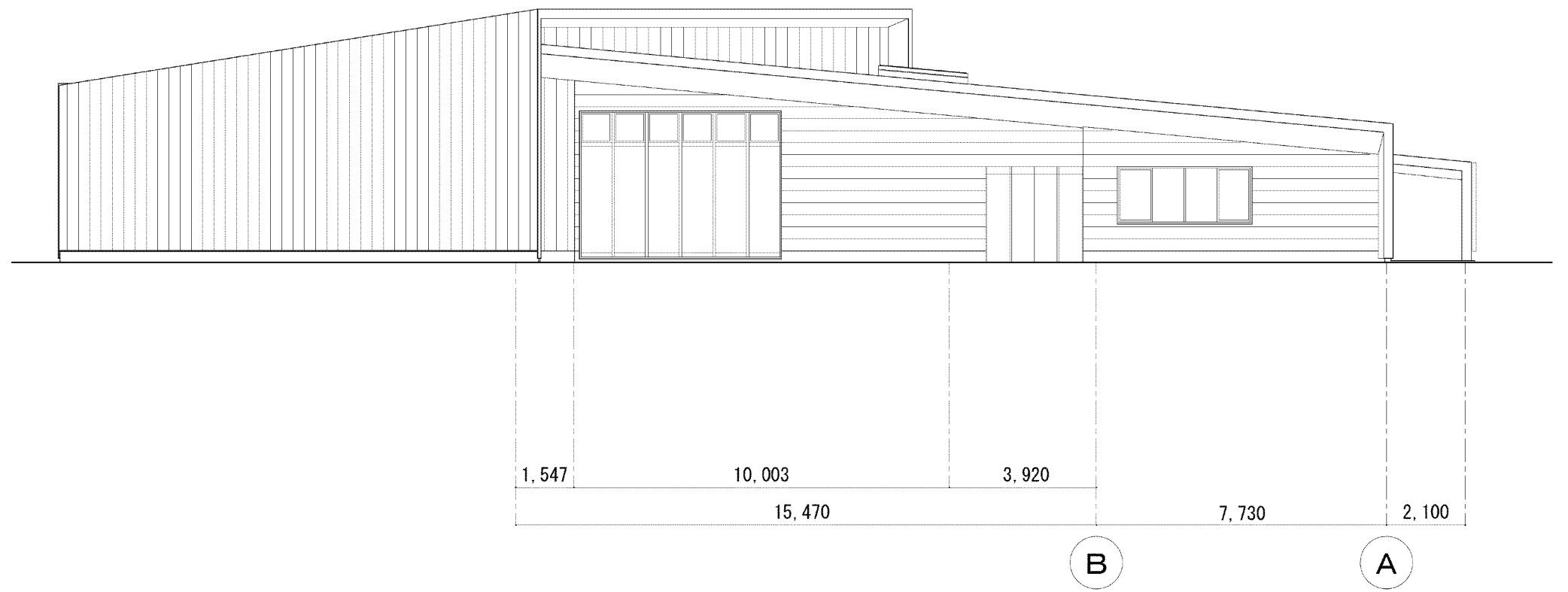




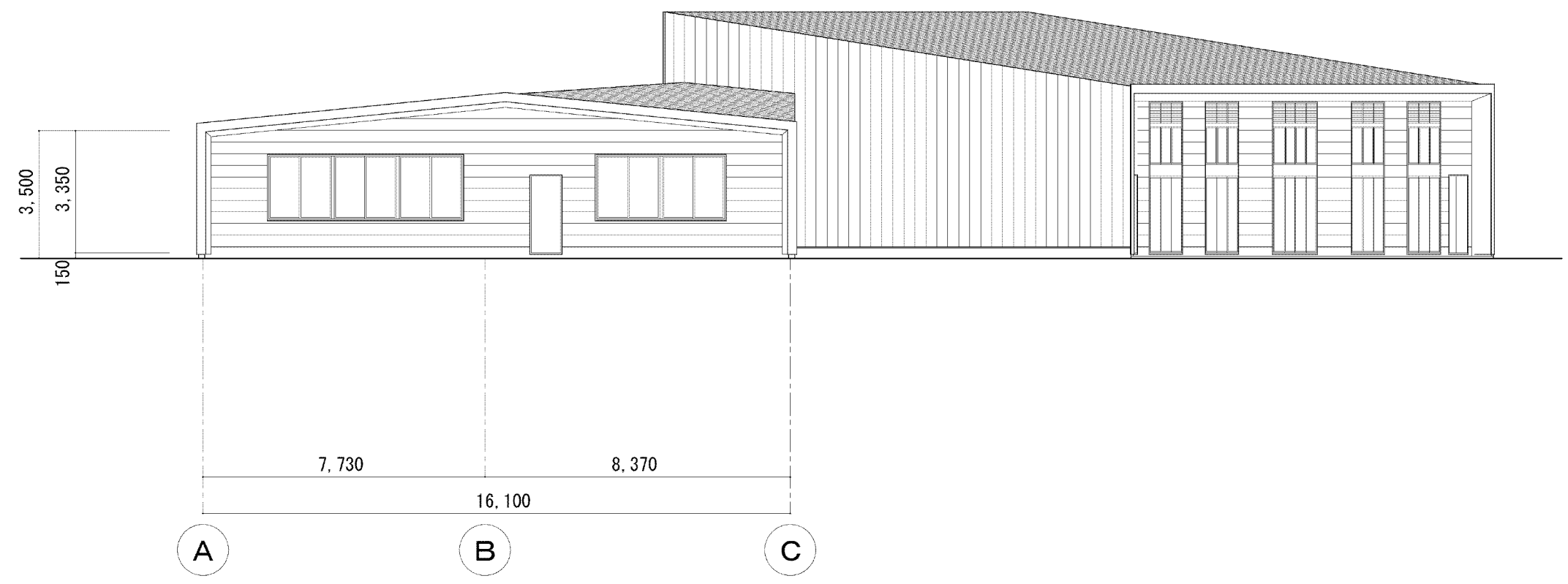
北北西側 立面図 1:200



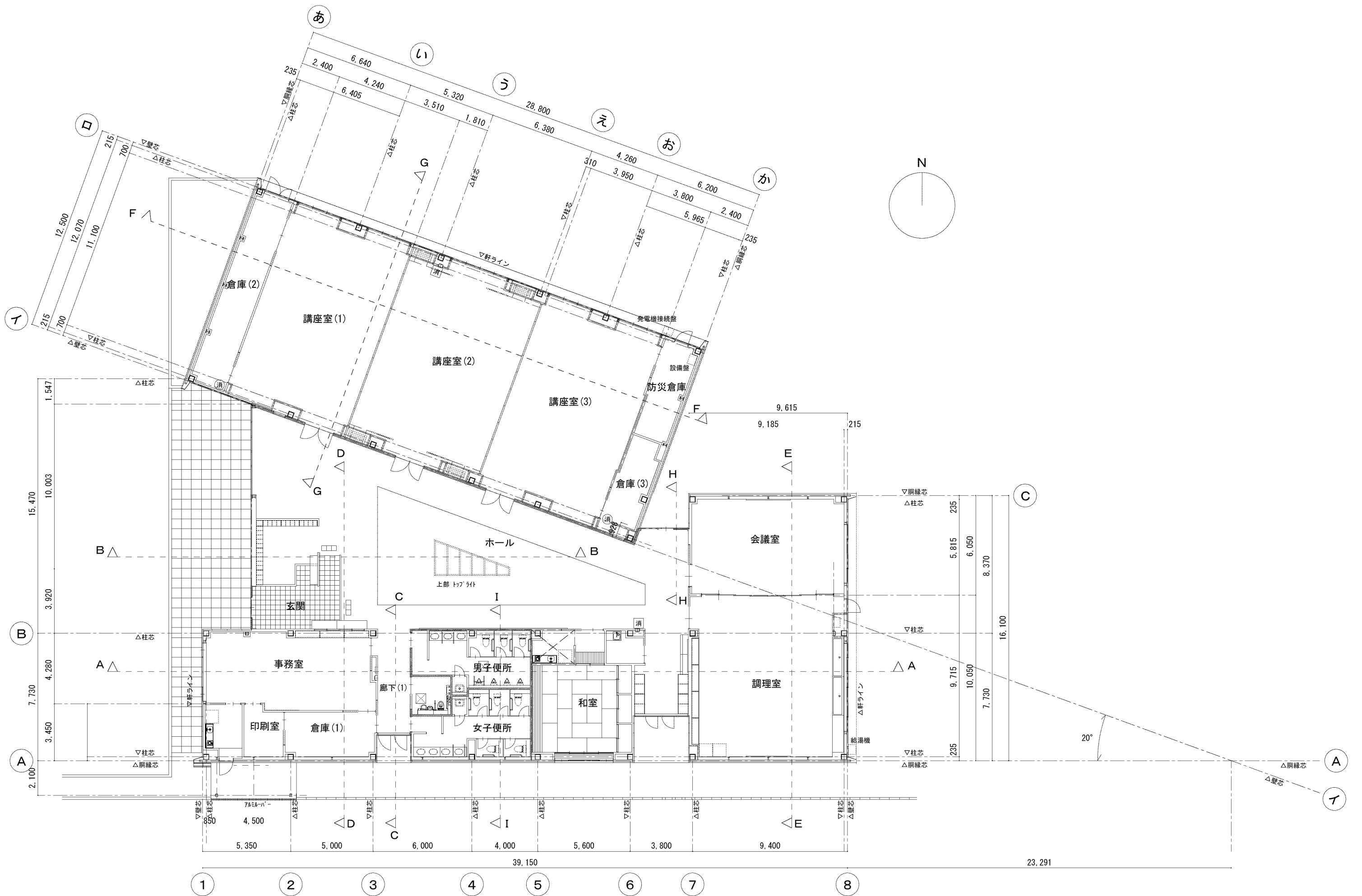
南側 立面図 1:200



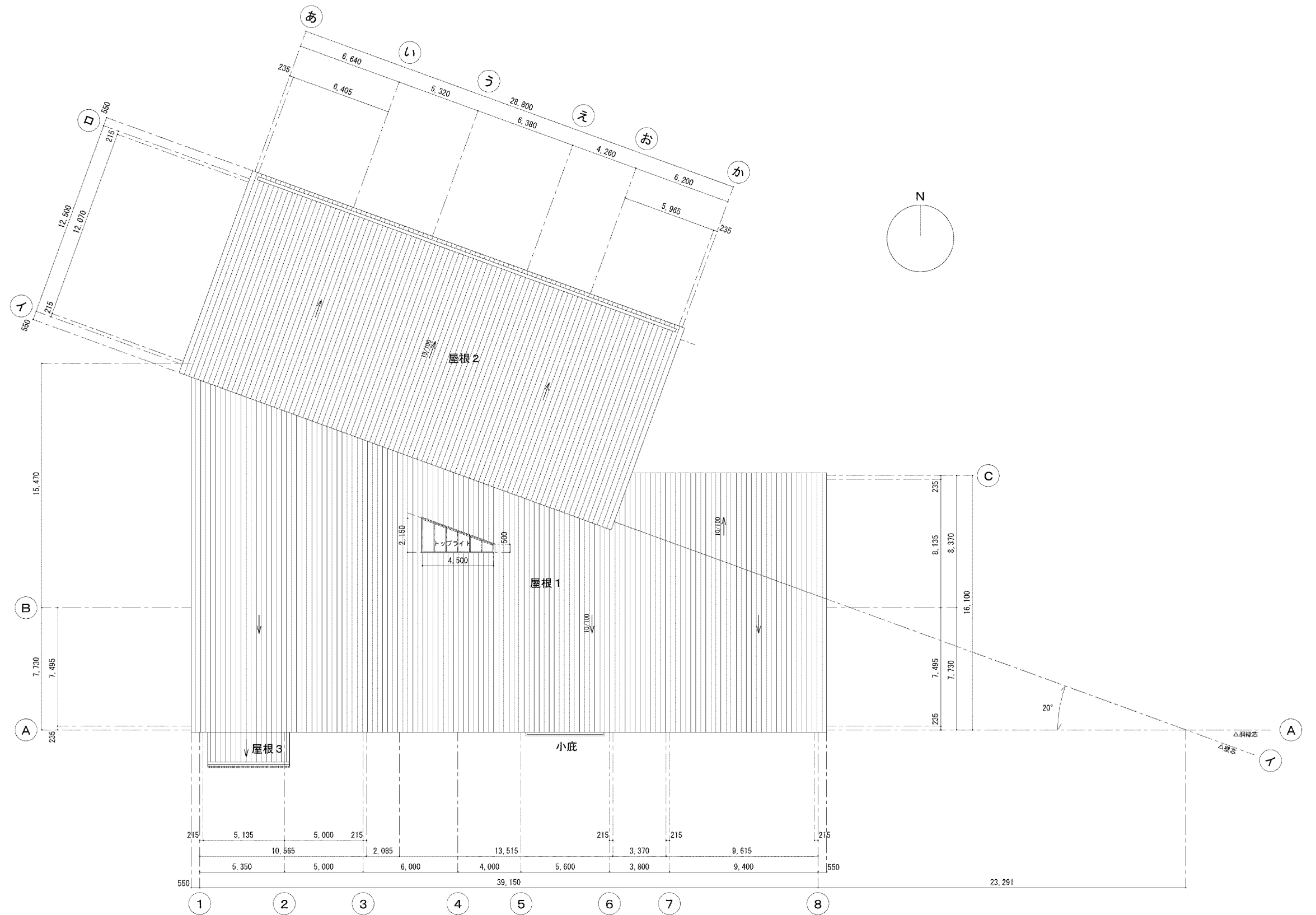
西側 立面図 1:200



東側 立面図 1:200

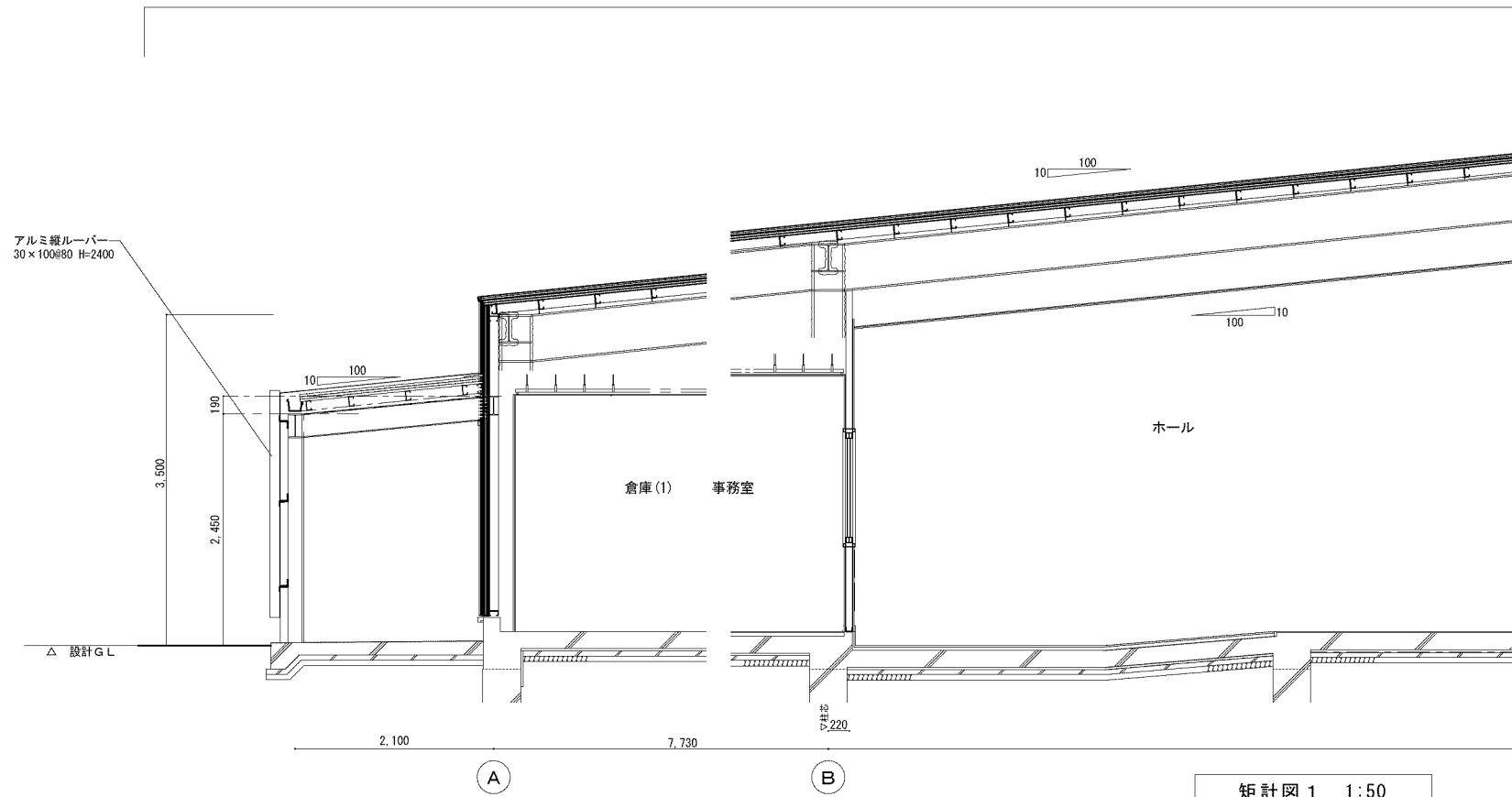


平面図 1:200 10



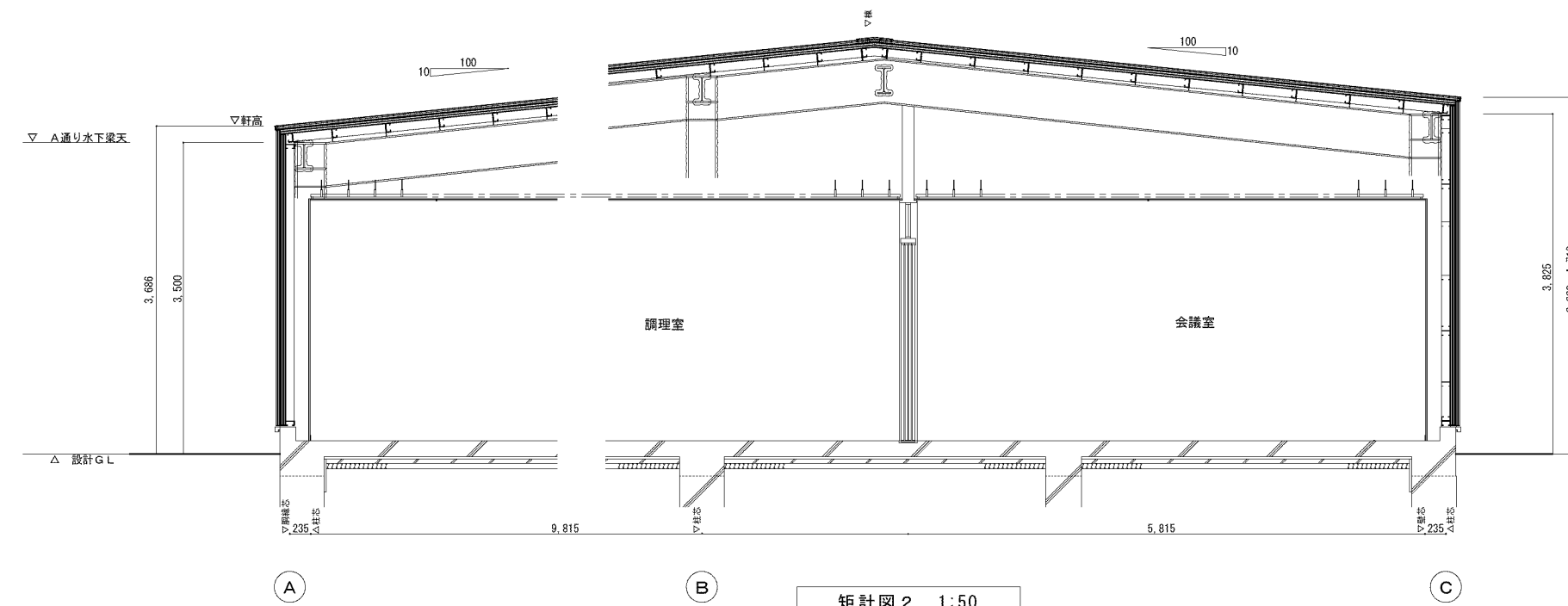
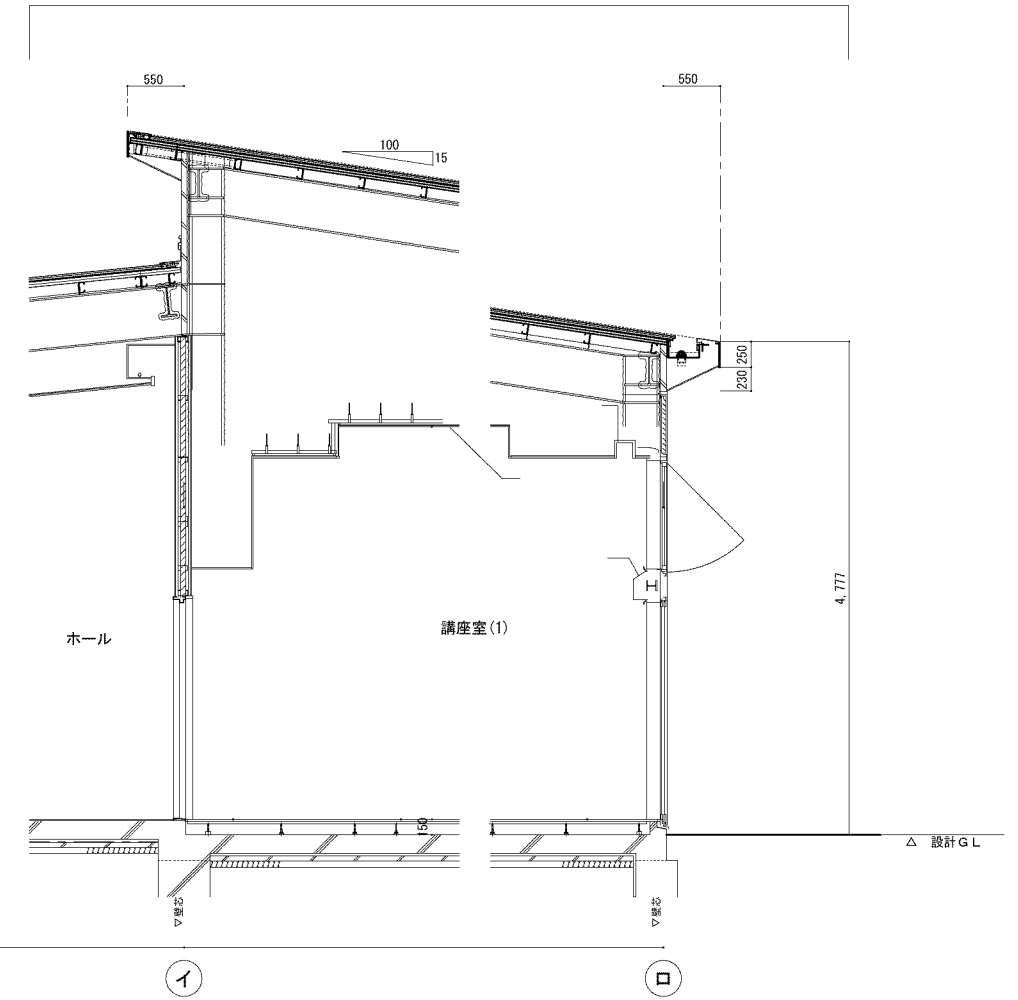
屋根伏図 1:200

D-D



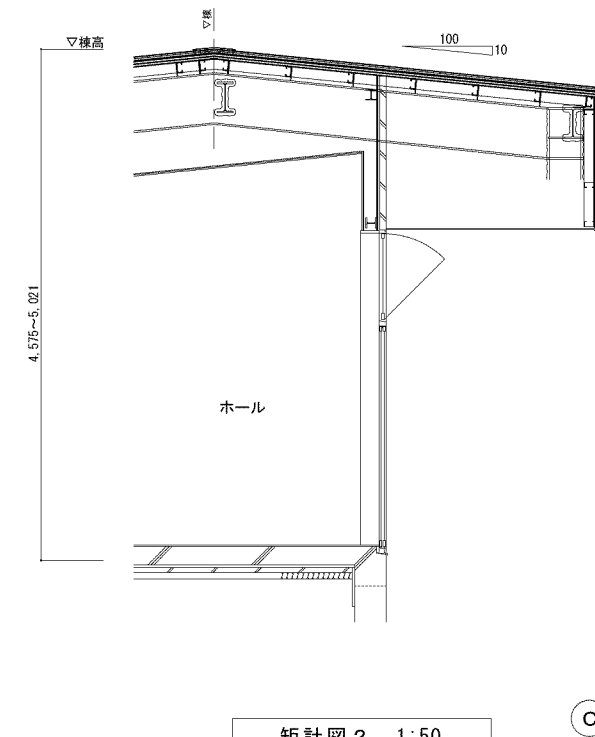
矩計図 1 1:50

G-G



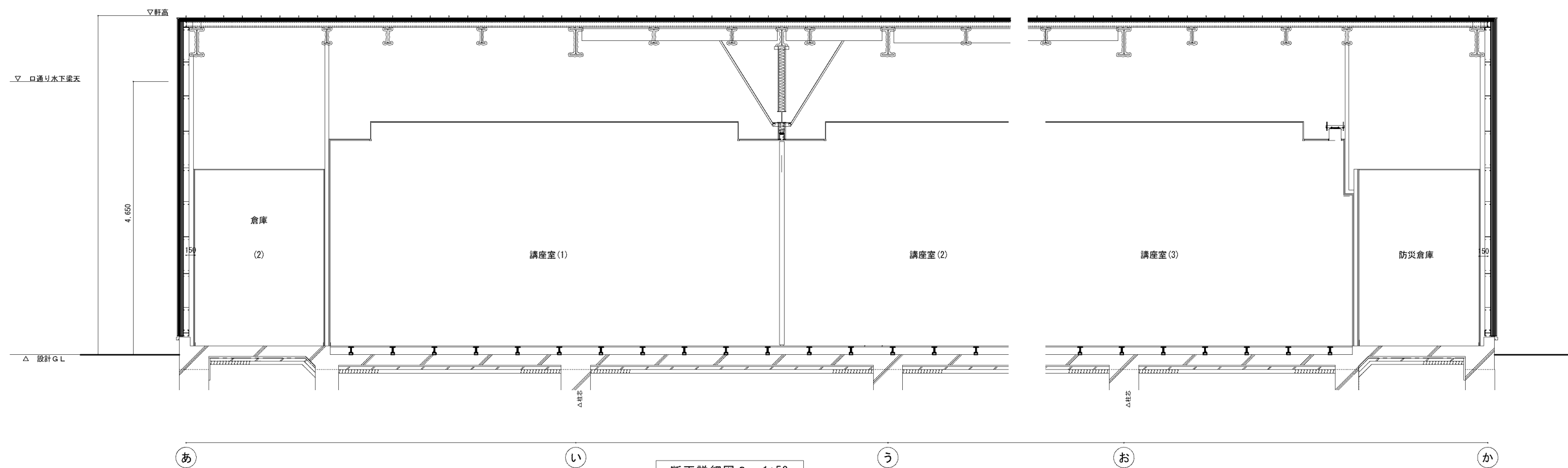
矩計図 2 1:50

E-E



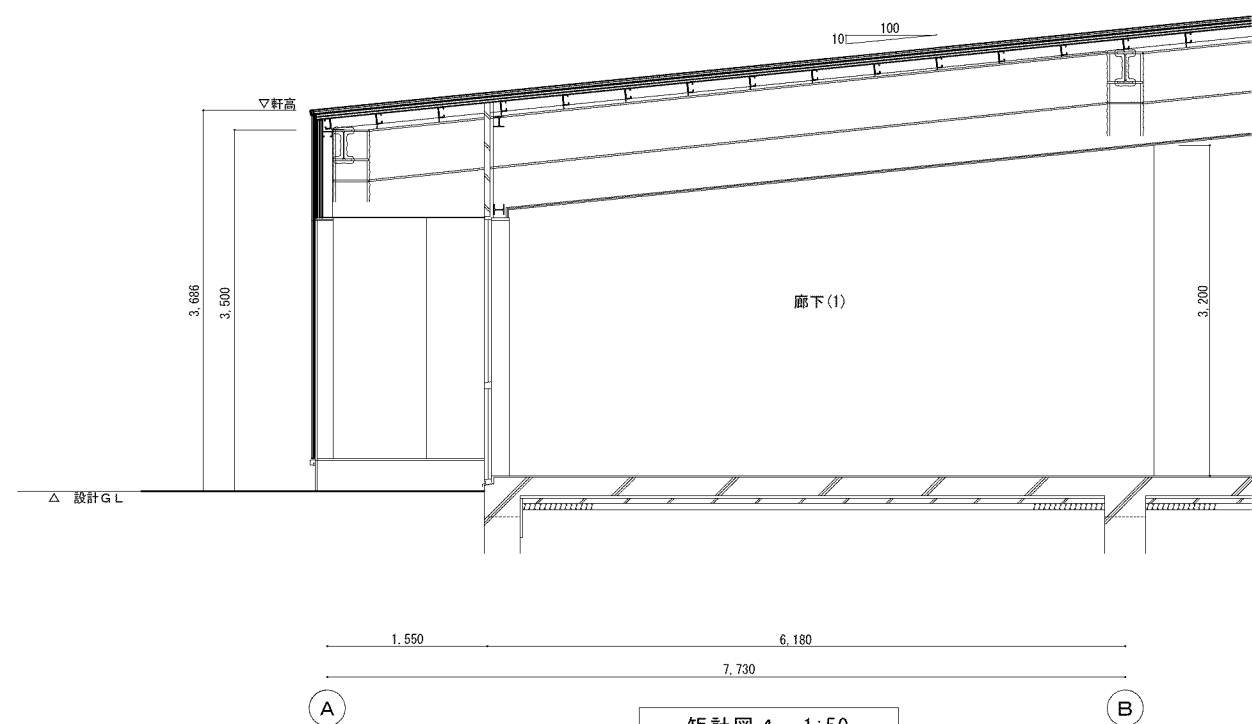
矩計図 2 1:50

H-H



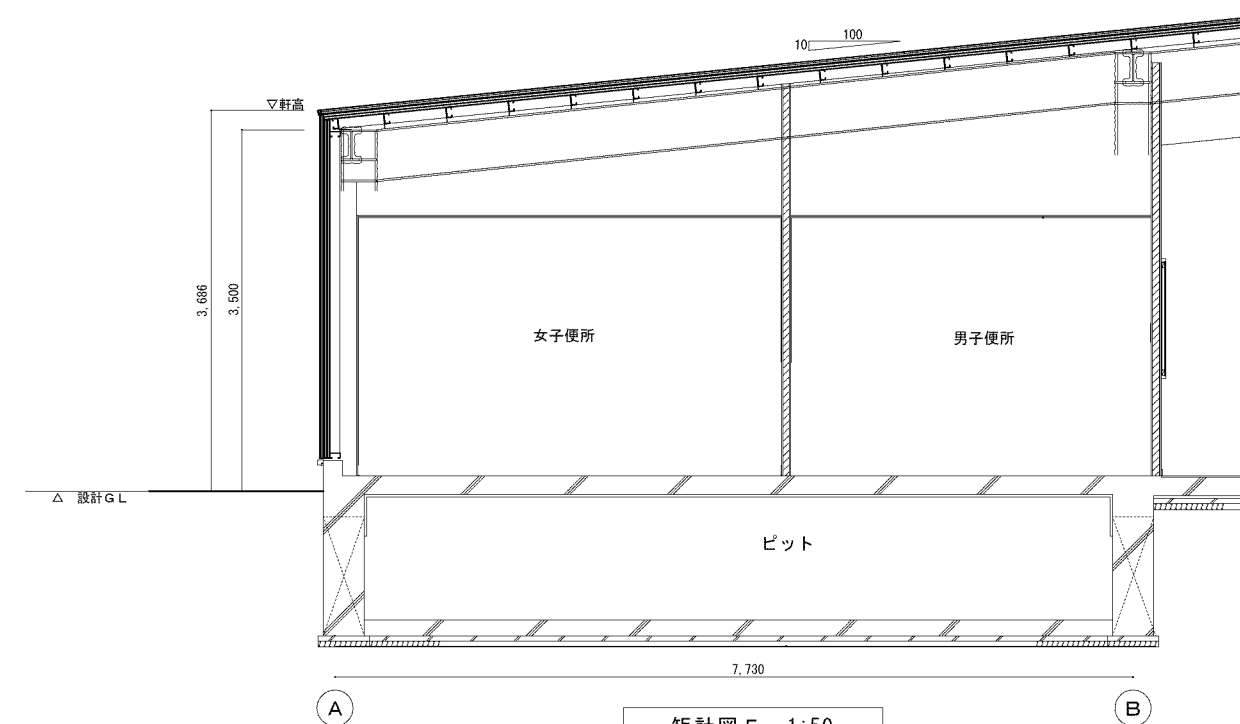
断面詳細図3 1:50

F-F



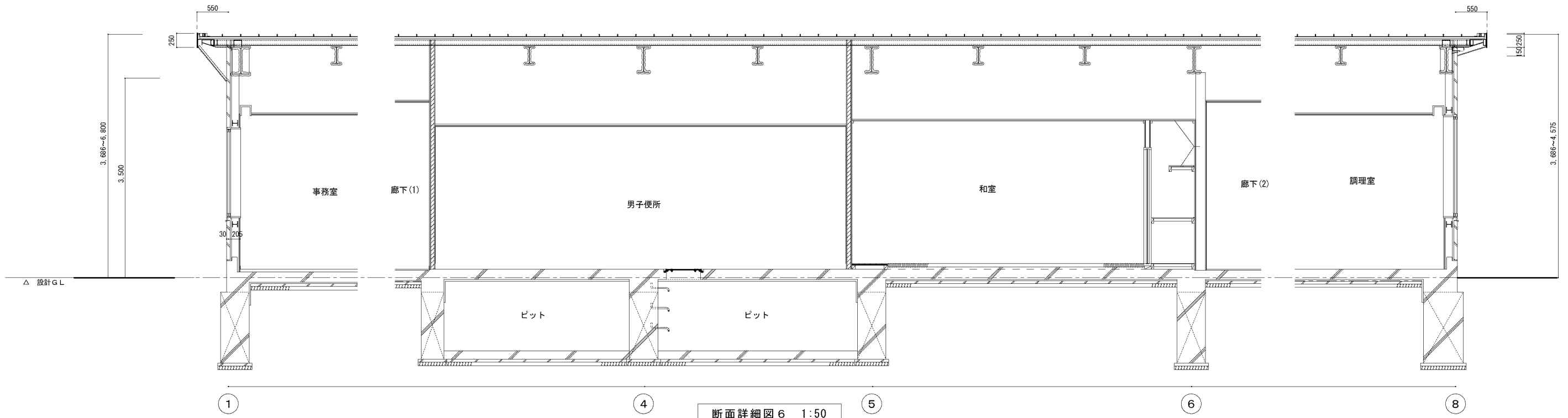
矩計図4 1:50

C-C

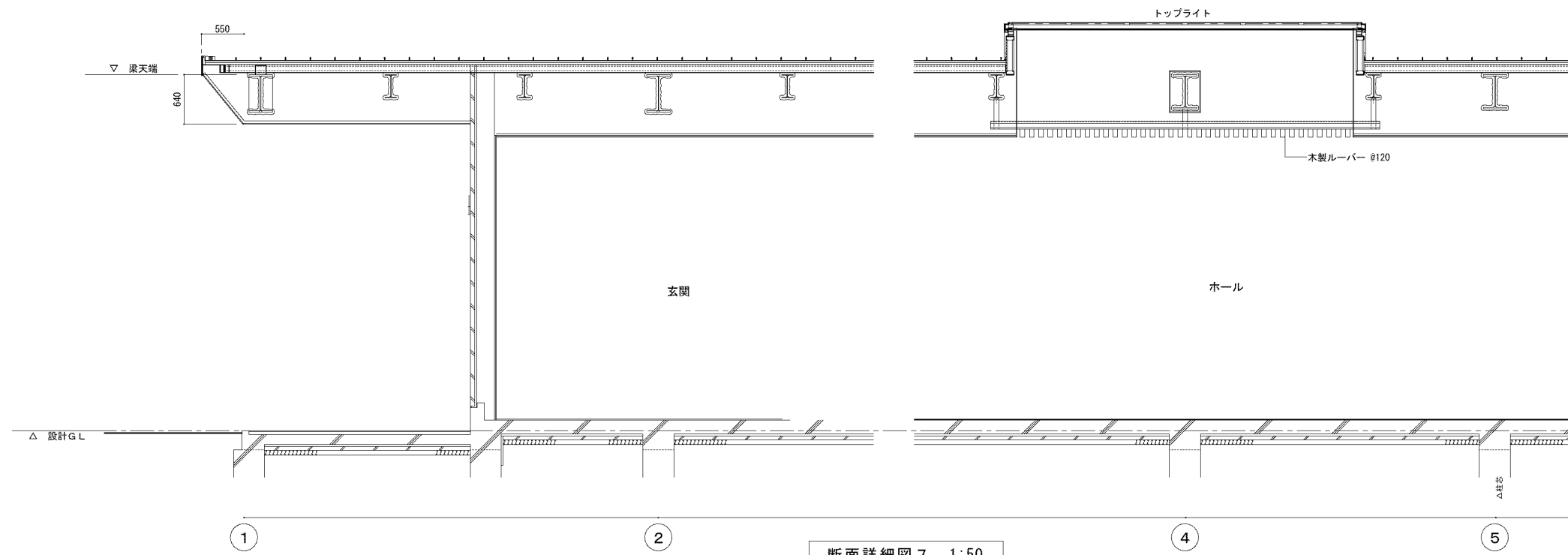


矩計図5 1:50

I-I



A-A



B-B